

コロナ禍の大学生のリアル ～休校中の学習支援活動を通して～



Tomoka UEBA

Agenda

1. 自己紹介
2. 学習支援活動での学び
3. まとめ

自己紹介

上羽友香(ウエバトモカ)

一早稲田大学法学部4年

一コロナ禍での主な活動

学習支援『休校塾』

オンラインイベント『できること会議』

新入生サポート『お助け法学部』

その他オンラインオープンキャンパス等



私の1年間

#全授業オンラインで、大学には1歩も入らず

#友人と会った回数は平均して月1回程度

#海外渡航の進路を断念、オンラインで就活に励む

#バイト先には半年間行けず

#StayHomeを活用して様々なプロジェクトや資格取得に取り組む

学習支援活動での学び

『休校塾』とは？

休校中の小中高生の自習中の質問に、
大学生がオンラインで無料で答えるサービス

- 活動時期:2020年4月-5月
- ツール:ZOOM、LINE、InstagramやTwitterのDM
- 利用者:500人超
- 学生ボランティア数:約60名



学んだこと・気づき

- 「自分が社会に価値を与えられる場」を求めている大学生が増えた
 - 「お金」より「やりがい」
- 「信じて頼る」ことの大切さ

困難だったこと

—マンパワーの限界

—完全オンラインのため、“悪い考えを持った人”が入り込む可能性も

まとめ

二極化する大学生

精神面:学校に行けないことで病む人／救われる人

(↑特に一人暮らし&新入生)

活動面:コロナ禍を生かす人／生かさない人

経済面:生活に困窮する学生／特に変わらない毎日を過ごす学生

やり方次第で「ピンチはチャンス」

コロナは負の側面ばかりではない。

むしろ問題がたくさん生まれる環境は、**新しい流れが起こりやすい環境**ともいえる。

特に時間とエネルギーのある大学生にとっては、コロナ禍はチャンスにできる！

★「ピンチをチャンスにできる大学生」を社会がサポートしていく必要性

思いがあれば誰でも参加できるような門戸の広い活動の場を設けたり、

素朴な「やってみたい」を生かすために助言や経済的なサポートをしたりなど。

~End~